

南さつま市社会福祉協議会

社協だより



編集・発行 社会福祉法人 南さつま市社会福祉協議会
〒897-0003 南さつま市加世田川畑2641番地2 ふれあいかせだ2階
TEL 0993 (53) 5590・FAX 0993 (53) 5685
URL: <http://www.shakyo.or.jp/hp/1744/>

令和4年1月

第96号

南さつま青年会議所と南さつま社協との 「災害時相互協力協定書」締結式が行われました。



11月26日（金）、南さつま市防災センターあんぼう21において、南さつま青年会議所と南さつま市社会福祉協議会（以下当会）との「災害時相互協力協定書」を締結いたしました。

この協定により、南さつま市内で災害が発生し、当会による災害ボランティアセンターの開設が必要となった際、南さつま青年会議所へ運営の協力を貰うことで、災害発生時の地域ごとの被災状況の把握や被災者への支援に繋がり、災害ボランティアセンターの運営や被災者への対応などをスムーズに行うことが可能となります。

新年のごあいさつ

南さつま市社会福祉協議会

会長 當房 公夫



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、市社会福祉協議会の事業推進にご理解とご協力をいただいております。ことに對し、厚く御礼申し上げます。

昨年は、「コロナ騒動」により私たちの生活は一変し、今までに経験したことのない日々の暮らしが続く一方、「コロナ禍の厳しい課題」も顕在化してきています。特に、長年にわたりつちかわれてきた「真心をもった地域のつながり」の希薄化が進み、助け合い組織の弱体化が心配された一年でした。

幸いにして、本市では福祉関係団体やボランティアの方々や、さまざまな工夫をされて「ささえあい活動」や「つどいの場づくり」「地域での声かけ」などぬくもりに満ちた地域福祉活動を積極的に進めていただいております。関係者のご尽力に深く敬意を表する次第であります。

さて、本市におきましては、少子高齢化や高齢者世帯の増加をはじめ、複雑多様化した福祉課題が山積しております。市社会福祉協議会といたしましては、市民の皆様はじめ福祉にたずさわる方々との連携を深めて、本年も「ささえあい、明るく、安心・安全な生活ができるまちづくり」のために、細やかな面にも配慮した地域福祉事業の推進に努めて参りますので、一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

市民の皆様にとりまして、本年がよりよき年となりますようにお祈りし、年頭のごあいさついたします。

歳末たすけあい募金実績報告

募 金 実 績	1, 403, 501円 (12月20日現在)	
配 分 実 績	低所得世帯	336, 000円
	(対象世帯45世帯 家族合計78名)	
	児童養護施設3施設	90, 000円
	福祉施設入所児童	104, 000円
事 務 費		61, 308円
地域ふれあい事業	自治会15ヶ所	150, 000円
来年度事業配分(各種団体助成金等の事業に使用します。)		662, 193円

◎ 募金にご協力いただきありがとうございました。

◎ 以後の募金は、次年度配分事業と合わせて実施いたします。



令和3年度 ゆめ・ときめき活動推進セミナー in 南さつま



主催者挨拶



事例発表・意見交換



演芸発表 向江元気かい
「向江フレンズ」の皆さん

11月30日（火）、南さつま市老人クラブ連合会主催、南薩ブロック老人クラブ連絡会共催による「令和3年度ゆめ・ときめき活動推進セミナー in 南さつま」が開催されました。

このセミナーは、老人クラブの活性化と地域社会づくりについて幅広い分野の活動意欲を持つ会員の育成を図ることを目的としたセミナーで、市内各地域の老人クラブ会員や南薩ブロック各市老人クラブ連合会の役員の方々など、96名が参加しました。

セミナーでは、「クラブ新設（復活）・新規会員増の方策とコロナ禍での活動状況について」をテーマに、南さつま市内の3クラブ（中山老人クラブ、高橋長寿会、清原くろがねもち会）による事例発表と意見交換があり、それぞれ知恵を絞って活動している様子がうかがえました。この後、向江元気かいの女性会員で結成された「向江フレンズ」による演芸発表（健康体操）があり、日ごろの活動の成果を元気よく披露され、会場に花を添えました。

ボランティアセンター あらかるど♪

南さつま市ボランティア情報 No.82

高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座 坊津学園 5年生



11月16日(火)、坊津学園の5年生16名が高齢者疑似体験と認知症サポーター養成講座を受講し、高齢者福祉について学びました。加齢に伴う身体的な変化を体験する装具を身につけることで、年齢を重ねることで起こる不自由さを体験しました。また、認知症について学び、認知症の方への接し方についてグループで考えてもらいました。

高齢者や認知症の方々はもちろんですが、どんな方にも優しい気持ちで接することの大切さを学ぶ機会となったのではないかと思います。

「ボランティア南さつま」結成しました！



10月25日(月)から11月22日(月)の3回にかけて『生活支援に関わるボランティア養成講座』を開催し、9名の方が受講を修了しました。

講座を受講された皆さんで、「ボランティア南さつま」を結成し、月1回の定例会で集まりながら、活動内容を考えていくことになりました。何が出来るのか手探り状態ですが、地域の皆さんのために活動をしたいと考えています。まずは、加世田地域が中心になりますが、生活上のちょっとした困りごとのお手伝いをしたいと思います。

すぐに対応できないもの、お手伝いできないものもあるかもしれませんが、簡単な庭仕事等のボランティアを依頼される方がいらっしゃいましたら、ぜひ、お問い合わせください。

お問い合わせ 南さつま市社会福祉協議会
電話 0993-53-5590



生活支援体制整備事業 協議体だより

南さつま市では、高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることが出来るように、住民の皆さんがお互いに助け合い、支え合う体制作りを推進しています。

～ 第2層加世田1、2地区合同会議 ～



12月17日（金）、鹿屋市から講師を招いて、協議体や地域活動について学び、地域の持っている力や地域課題の解決について、意見交換会を行いました。

初めての合同会議でしたが、たくさん意見をいただき有意義な時間になりました。

～ ボランティア大浦の花植え ～



住民相互の助け合いの仕組みづくりを目的とした生活支援体制整備事業の一環で、ボランティア大浦の皆さんに協力を頂き、「くじら館」前の花壇に花苗を植えました。集まったボランティアの皆さんは配置を考えながら「キレイだね～」と声を掛け合い、手際よく花苗を植え付けました。

こうして花植えを行うことで、ボランティアの皆さんの交流はもとより地域住民の憩いの場である大浦の玄関口に、色とりどりの季節の花々が咲き誇り、訪れた皆さんの心に助け合いの気持ちが実り「お互いさま」の輪が広がっていくことでしょう。

向江元気かい! ～ 人材育成講座を受講しました ～



12月7日（火）、9日（木）の2日間、『向江元気かい』の皆さんが、かごしまシニア人材育成活用事業の人材育成講座を受講されました。

現在も、月1回のサロン、グラウンドゴルフ大会、女性部による踊り等、活発に活動されています。今回の講座を参考に世代間交流を行い、地域のため、自分の健康のために活動の幅を広げ、さらに新入会員を増やしていきたいとのことでした。

加世田地域

ころばん体操交流会を開催しました！



現在、南さつま市では19か所の地域で週1回のころばん体操（自主活動）を行っています。去る11月22日（月）と12月1日（水）の2日間に渡って、加世田地域のころばん体操交流会を行い、98名の参加がありました。前半は昨年度実施したアンケート結果やフレイル（虚弱）、認知症予防についての講話を中心に、後半は健康運動指導士によるストレッチ・体操を行い、大いに盛り上がりました。

アンケート結果から95%の方が「取り組んでよかった・これからも続けていきたい」と回答していることや、継続していることで「笑顔や人との会話が増えた・1週間が待ち遠しい・身体が軽くなった・筋力や体力がついたと感じる」といったうれしい意見が寄せられていることが紹介されました。また講話では、ころばん体操の活動継続がフレイル予防や認知症予防になり、それは自分たちが住む地域づくりにつながっていることを学びました。

後半の運動では、講師の指導のもと、これからの寒くなる季節に必要な身体を温める運動などを一緒に行い、身体を使った脳トレでは、自分の身体が思うように動かないことに首をかしげ、笑いながら楽しく運動しました。

今回は、コロナ禍での開催で十分な交流が図れませんでした。が、「休憩の合間に他の地域の方と話ができた」、「自分たち以外にも頑張っている地域があると知ることができた」などの声もあり、楽しい交流会となりました。

※大浦・笠沙地域、坊津地域でのころばん体操交流会は今後開催予定です！

ご案内いたしますので、活動地域の方々の参加をお待ちしています！

※まだ、ころばん体操に取り組んでいない地域のみなさん、興味がありましたらご連絡ください！



【お問い合わせ：南さつま市地域包括支援センター 58-2662】

相談所開設日程のご案内

相談は**無料**

心配ごと相談 ひとりで悩まずに相談してみませんか!!

地 域	加世田	笠 沙	大 浦	坊 津	金 峰
場 所 (時間) 月	ふれあいかせた2階 (13:00~16:00)	笠沙庁舎1階会議室 (9:00~12:00)	大浦老人福祉センター (9:00~12:00)	坊津老人福祉センター (13:00~16:00)	金峰老人福祉センター (13:00~16:00)
2月	14日(月)	4日(金)	10日(木)	16日(水)	22日(火)
3月	14日(月)	4日(金)	10日(木)	16日(水)	22日(火)

心配ごと相談は、各地域の相談員さんが相談に応じます。相談内容の秘密は厳守いたします。
地元の方へ相談できない場合は、市内他地域の相談所にてご相談ください。

弁護士相談

※ 弁護士相談の開催時間は13:00~16:00で、事前に予約が必要です。

開 催 日 2月4日(金) 3月11日(金)

※ 赤字の日程は、祝日等の関係で日程を変更して実施いたします。

弁護士相談の受付は、相談時間の都合上、1日6件(1件:30分間)となります。予約多数の場合、予約を受けられないこともございますので、予めご了承ください。

◎お問い合わせ及び弁護士相談の申込みは、

南さつま市社会福祉協議会 本所 総務課

TEL 0993-53-5590

生きがいデイサービス

金峰支所生きがいデイサービスでは、四季を感じる楽しみの一つであるコスモス散策を楽しみました。

赤、白、ピンクと色鮮やかに咲き誇り、秋風に吹かれて揺れる一面のコスモスに「わー！きれい！」と声が上がっていました。

また、「一人ではコスモス散策には来れないけど、みんなと来ることができて嬉しい」と喜びの声も聞かれました。

金峰山を背に、ハイ、パチリ！いい笑顔です。



坊津支所生きがいデイサービスでは、11月に内山田の田之野へ、皇帝ひまわりの観賞ドライブに行ってきました。背が高く鮮やかな黄色の花は、見るだけで元気をもらいました。

※写真撮影の時のみマスクをはずしています。

〇チャイルドシート クリーニング代について (お知らせ)

諸般の事情により、2月1日以降の返却につきまして、クリーニング代を1,100円に変更させていただきます。ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

ご寄付を頂いた皆様 - 敬称略 -

香典返し

ご冥福を

お祈り申し上げます

() は故人名になります

加世田地域

(十月分)

井上 孝 (井上 道恵)
相星 富光 (相星 泰子)
尾辻 孝子 (尾辻 吉直)
本 道哉 (本 幸子)
貴島 軍一 (貴島 涼子)
園田 親久 (園田 弘行)
寺園 浩太郎 (寺園 タミ子)
戸床 朝子 (戸床 忠一)
鮎川 豊文 (鮎川 信夫)
石原 務 (石原 ツ子)
畑仲 真知子 (湯本 ノリ子)
匿名希望一名

(十一月分)

鞆 津由子 (市坪 義照)
深海 明美 (弥栄 次枝)
野村 好章 (野村 ミチ子)
阿久根 英敏 (阿久根 光則)
本 純一郎 (本 久子)
宮園 春雄 (宮園 久夫)

鮎川 ヨシ子 (鮎川 政弘)
匿名希望二名

笠沙地域

(十月分)

宮路 清春 (宮路 ナル)

(十一月分)

片平 勝治 (片平 勇市)

大浦地域

(十月分)

崎山 勝義 (崎山 ツギノ)
前本 知治 (前本 キヨ子)
窪 妙子 (窪 勝明)
寺園 タエ子 (下屋 千工)
東 洋子 (原田 秀子)

(十一月分)

久保 正美 (久保 ミヨ)
笹山 茂行 (笹山 道治)

坊津地域

(十一月分)

坂野 勉 (長谷 佐世子)

金峰地域

(十月分)

櫻木 久雄 (櫻木 ハヤ子)
出来 治子 (東上床ユリ子)

(十一月分)

諏訪園ノブ子 (諏訪園 満啓)
山田 耕一 (山田 ユキ工)

坊津地域

(十一月分)

老人福祉センター利用者
(入浴施設利用に際し)
匿名希望一名
(福祉活動資金)

一般寄付

ご厚志に感謝

申し上げます

笠沙地域

(十一月分)

匿名希望一名
(福祉活動資金として)



この「社協だより」には、ボランティアによる音声翻訳版があります。

詳しくは南さつま市社会福祉協議会 本所まで。

電話 531-5590

たくさんのご寄付を

頂きました。

○香典返し 36件

505,000円

○一般寄付 3件

21,600円

心より感謝申し上げます。



この「社協だより」の制作費の一部には、共同募金の配分金が活用されています。